

I. 平成30年度の実績

グループ名称	日田グリーン化事業「天領木の会」				
H30採択グループ番号	07	—	0744	—	0762

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	平成30年度から経験工務店と未経験工務店とで配分額が異なってきた為、特に未経験工務店へのサポートを強化し、グループ内で11戸の補助金申請が出来、その内の5戸が未経験工務店の申請だった。また事業説明会や消費者説明会や工務店研修会を頻繁に行った。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/17	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業の説明会		●	
	内容	30年度地域型住宅グリーン化事業の採択が7月31日付けでおりて、8月6日に一斉FAX送信をし、8月17日に説明会を日田木材協同組合の2階会議室で開催し、グループへの配分額の説明や附帯条件及び留意事項や配分ルールを説明した。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/04/07	名称	完成見学会(スタイリッシュな長期優良ゼロエネ住宅)		●	
	内容	大分県大分市大字羽田穴井前468番1で天領木MI様邸の完成見学会を4月7日(土)から8日(日)で行い地域型住宅グリーン化事業の説明を行い15組の来場があった。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2018/06/16	名称	完成見学会(街並み保存地区のゼロエネルギー住宅)		●	
内容	大分県日田市丸の内町709番3で天領木I様邸の完成見学会を6月16日(土)から17日(日)で行い地域型住宅グリーン化事業の説明を行い21組の来場があった。								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/17	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業の説明会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/09/13	名称	9月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学	●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/10/11	名称	10月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学	●
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/11/08	名称	11月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学	●
	工務店研修会 5	有	開催日	2018/12/13	名称	12月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学	●

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		●
	内容	未経験工務店は最初、各社共に下請けで入って頂き、長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の施工に慣れてもらいながら工事のハード面から、集客や商品や性能や融資に至るソフト面まで共有しています。		
取組み ②	サポートの有無 2	有		●
	内容	天木会(天領木協力会)では国策の「低炭素社会に向けた住まいと住まい方の推進に関する工程表(案)」を用いて将来の住宅を想像しながら毎月第二木曜日の夕方から集まり勉強会を実施しています。		
取組み ③	サポートの有無 3	有		●
	内容	完成見学会があると各社共に応援に入って頂き消費者の生の声を聴いて、お客様のニーズが何処を向いているのか肌で感じて学んでもらっています。		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	39	発行予定	11
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JIO日本住宅保証検査機構	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	万が一に備えた体制構築の取り組みを考え、協力会を発足し月1回は常に情報交換を行う様にしています。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	LIXILのSW(スーパーウォール)工法を採用し全棟を高性能住宅にし、更に「建て得」を推奨して、太陽光発電システムを実質0円で搭載し省エネルギー化に取り組んでいます。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	完成見学会ではお客様に省エネルギー住宅を体感して頂き、またHEMSなどでエネルギーの見える化を行い、インシャルコストよりランニングコストの費用面を見て頂き省エネルギー住宅の優位性をご説明しています。	
BELS工務店の登録数	3社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	日田グリーン化事業「天領木の会」				
H30採択グループ番号	07	—	0744	—	0762

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/18	名称	平成31年度地域型住宅グリーン化事業の説明会		
	内容	31年度地域型住宅グリーン化事業の採択が予定の7月10日(水)に決定されれば、一斉FAX送信をし、7月18日(木)に説明会を日田木材協同組合の2階会議室で開催し、グループへの配分額の説明や附帯条件及び留意事項や配分ルールを説明します。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/27	名称	完成見学会(天領木TAKA様邸)		
	内容	大分県日田市大字竹田字鬼塚1377番7で天領木TAKA様邸の完成見学会を7月27日(土)から28日(日)で行い地域型住宅グリーン化事業の説明を行います。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/08/03	名称	完成見学会(天領木YO様邸)		
内容	大分県日田市三本松新町747番32で天領木YO様邸の完成見学会を8月3日(土)から4(日)で行い地域型住宅グリーン化事業の説明を行います。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/18	名称	平成31年度地域型住宅グリーン化事業の説明会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/08/08	名称	8月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/09/12	名称	9月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/10/10	名称	10月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学
	工務店研修会 5	有	開催日	2019/11/14	名称	11月天木会(天領木協力会)	タイプ	座学

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店は最初、各社共にご下請けで入って頂き、長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の施工に慣れてもらいながら工事のハード面から、集客や商品や性能や融資に至るソフト面まで共有して行きます。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	天木会(天領木協力会)では国策の「低炭素社会に向けた住まいと住まい方の推進に関する工程表(案)」を用いて将来の住宅を想像しながら毎月第二木曜日の夕方から集まり勉強会を実施して行きます。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	完成見学会があると各社共に応援に入って頂き消費者の生の声を聴いて、お客様のニーズが何処を向いているのか肌で感じて学んでもらって行きます。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JIO日本住宅保証検査機構
------------	----------	-----	---------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	万が一に備えた体制構築の取り組みを考え、協力を発足し月1回は常に情報交換を行う様にしています。また協力で積立金を作り万が一に備えています。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み(新築)	有						
内容	LIXILのSW(スーパーウォール)工法を採用し、更に「建て得」を推奨して、全棟を高性能住宅にし太陽光発電システムを実質0円で搭載し省エネルギー化に取り組んで行きます。						
省エネ化に対する取組み(改修)	有						
内容	完成見学会ではお客様に省エネルギー住宅を肌で体感して頂き、またHEMSなどでエネルギーの見える化を行い、インシャルコストよりランニングコストの費用面を見て頂き省エネルギー住宅の優位性をご説明して行きます。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/18			
内容	31年度地域型住宅グリーン化事業の採択が予定の7月10日(水)に決定されれば、一斉FAX送信をし、7月18日(木)に説明会を日田木材協同組合の2階会議室で開催し、新しく新設された省エネ改修のグループへの配分額の説明や附帯条件及び留意事項や配分ルールを説明します。					
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	日田グリーン化事業「天領木の会」				
H30採択グループ番号	07	—	0744	—	0762

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	周囲を山々に囲まれた日田は盆地特有の内陸性気候で、夏は最高気温が日本一になるなど非常に暑く、また冬は近くにスキー場があるなどとても寒く、寒暖の差が激しい地域なので外皮性能を高断熱化にし、幕府直轄の天領の地で育まれた日本三大美林のひとつ日田杉を「天領木」として再構築して主要構造材80%以上ふんだんに使用し、五感に響く『健康とエコ』をテーマとした地域型住宅の生産体制とする。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上		80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	使用する地域材として主に、大分県産材等証明、大分方式乾燥材、合法木材供給事業者認定書によるものを使用する。 使用する地域材として、材のコスト・品質・強度・納期を考慮し、横架材に関して、合法木材(国内及び国外)の使用を認める。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
	羽柄材	間柱、根太、垂木等				
造作材	枠材、廻縁等	有				
板材	壁板、床板等	有				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達との共同化に向けた取組み	有	
内容	地域材の供給グループ(原木供給・製材・集成材・合板・流通)は指定の地域材を使用し用材の寸法規格化を行い、共同購入による生産の合理化と建築工事コストの削減を行う。	
② 建材・特定資材の調達との共同化に向けた取組み	有	
内容	建材・特定資材の供給グループ(建材流通、省エネルギー設備等の流通)は共同購入による生産の合理化と建築工事コストの削減を行う。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	勉強会や個別訪問・問い合わせ対応等で在庫供給情報を共有する。 原木、製材、住宅設備機器、資材などにおける、同一製品をデータ化し、共同購入による生産の合理化と建築工事コストの削減を行う。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	施工の事業者は毎月第二木曜日の天木会(天領木協会)で情報交換を行い、作業中の現場勉強会を行い安心・安全の家づくりを目指した工期短縮や断熱材の入れ方や各社の創意工夫を学ぶ。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	入居者に維持保全計画(30年間)の点検項目や点検の時期などの説明。 維持保全計画(30年間)の更新・取替の時期、内容などに応じて補修やリフォーム推進。 メンテナンス実施に関する報告書を入居者と事務局に提出。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	地域型住宅においてグループで定めた「標準設計・施工指針」を参考とし、各自の配筋検査・第三者機関の検査を受け証明書の添付を行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	グループとしての「標準見積書」の作成と見積手法の標準化の取り組み。 消費者への住宅コストの見える化と適正な価格の提示。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	目標として全棟フラット35S(金利Aプラン)を満たすグループの技術力を目指す。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が成立し、各社の週休2日制の導入を確認する。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	技能や経験を生かして技能試験やコンテストなどに積極的に参加し、表彰や名誉を讃えふさわしい処遇を実現する。
③ 社会保険への加入	有	内容	社会保険に加入しているか各社の確認を行う。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全パトロールを月一回のペースで行う。 毎朝ラジオ体操を行い健康の確保を行う。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	日田グリーン化事業「天領木の会」				
H30採択グループ番号	07	—	0744	—	0762

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数(1畳換算):90枚
② 和瓦の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数:200坪
③ 襖・障子の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数(3×6換算):襖 80枚、障子 40枚
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	床は凹凸加工した『杉うづくりの床』や、壁は漆喰、天井は和紙の伝統的な素材を活用し五感に響く癒し空間を提案する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	夏は日本一暑くなったり冬は寒く盆地特有の高温多湿な地域の為、自然の光や風を活かせる様に軒を低く長く出したりしてパッシブと和のテイストを融合し飽きの来ないデザインを継承する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	地域の特産品である日田杉の『杉うづくりの床』は香りも良く裸足で過ごす住まい方の継承につながり、子供達の偏平足防止や滑り止めになるなど、住まいの向上につながる為推奨する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	日田市街に建設の場合は『日田市景観計画』を参考にし、豆田町の古い街並みに寄与した建物を提案する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

日田は平成28年の熊本地震や平成30年7月豪雨でもかなりの影響があり、復興と共に教訓として地震や水害に強い“スーパーウォール工法”を採用し木造軸組+パネルの耐震モノコック構造で耐震等級3で、基礎断熱とし換気口が無く断熱材は硬質ウレタンフォームとして水害対策をしています。

② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

毎月第二木曜日の天木会(天領木協力会)で話し合いをして災害時の緊急連絡網を作成し、災害情報などを共有し先ずは建てられた家の被害が無いか、被害があれば迅速な対応が出来る様に取り組んでいます。